

# 風をうけて

例年より積雪量が少ない札幌ですが、路面がツルツルで危険な状態なのは相変わらずですね。滑って転んで大けがをしては大変！足もとに注意しながら歩きましょう！！

また、この時期はインフルエンザやノロウイルスに対しても十分な注意が必要です。部屋の空気を定期的に換気したり、積極的に手洗いしましょう。不規則な生活や寝不足がちな人は体力が落ち、ウイルスに対する抵抗力も下がるので、日常の生活を見直すことを心がけましょう。



## 人はなぜ学ぶのか



前回は「なぜ働くのか？」というテーマを投げかけましたが、今回は「**学び**」について。

何度か取りあげてきた話題ですが、これもまた有史以来の命題。人間は、生物界のなかでどんな位置づけでしょうか。たとえば、チータと<sup>か</sup>駆けっこで競争したって人間は絶対に勝てないでしょうし、ライオンや熊と素手で戦っても勝算はほぼないでしょう。

しかし、人間はあらゆる生物の中で最も知能が高く、知恵を生かしながら進化してきました。多くの動物は「学習」はしますが、人間はさらに深く思考し判断し、表現する能力に<sup>た</sup>長けています。

これまで、私たちは「勉強する」といった場合、とかく「知識の量」にこだわってきました。テストを<sup>ぜんてい</sup>前提にして覚えた知識を解答用紙に吐き出すという単純な勉強の仕方をしてきました。知識が豊富であれば知性を備えた人といえるでしょうか？ そう、<sup>けんめい</sup>賢明なあなたならわかるはず。頭に詰<sup>つ</sup>め込んだ知識がバラバラで何のつながりもなければ、それは“知識だけ”がある物知り博士ではありません。大切なのは知恵を生かし知性を磨くことです。

## 自分を見つめる

平和で幸福な世界をつくるために、そして安定した社会をめざすために、知性はみんな（人類）の共有財産になります。みんなで共有するためには、言葉を使って相手に伝える力も必要になります。相手と理解し合うためには信頼が必要です。信頼に基づく人間関係は、相手との距離の取り方で決まります。知性のある人は、他者との距離のはかり方が上手ですが、実は、自分との距離の取り方（自己を客観視する力）も優れて<sup>すぐ</sup>います。

「俯瞰<sup>ふかん</sup>」という言葉があります。高いところから下を見下ろし眺<sup>なが</sup>める、という意味です。空を飛ぶ鳥の目線という意味の「鳥瞰<sup>ちようかん</sup>」も同じです。

### ◆メタ認知

あなたは、どれだけ自分自身を冷静に見つめることができているでしょうか。これこそ正に知性なのです。自分の思考や行動、知覚や記憶、学習、言語などを対象として客観的に把握し認識することを認知心理学では、「メタ認知（Metacognitive Ability）」と呼んでいます。

裏を返せば、「自分に足りないものはなにか」「自分はどんな性格（どんな癖<sup>くせ</sup>がある）か」などを認識できる人ということです。以前、哲学者ソクラテスの「無知の知」を引用して説明しましたが覚えているでしょうか。他人の言動ばかり気にしたり悪口を言っているとメタ認知力は低くなります。

知性のある人は己の無知を自覚し、不足するものを補うために何をしたらよいか考えます。そして自分が設定した目標に到達するためにどう努力したらよいかを考えます。そういう人は常に「学ぶ」

ことの意義を考え、「ほんとうの学びとは何か？」ということ問い続けます。

ええ、そう言っている私自身、そういう者になりたいと思って学んでいる修行中の身です。でも、行動に移すのが大変なんです。そこは私もわかっています。行動力が足りないことはメタ認知できています……確実に行動できる人になりたいですね。だから、共に学んでいきましょう！

